

令和4年度 第10回教育研究審議会議事概要

日 時 令和4年8月3日(水) 午前10時50分～午後0時20分

場 所 本部棟3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、加藤敦子副学長(兼)語学教育センター長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、田中正樹事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐(兼)図書館長、加藤めぐみ学長補佐(兼)保健センター長、竹島達也研究科委員長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、新井仁入学センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、野中潤国文学科長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、高橋洋地域社会学科長、横瀬晴紀総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案(地域社会学科)

○委員Aから資料1に基づき説明。

(委員B)

意見書の「都留文科大学非常勤講師の採用人事の手引きに関する内規」の該当箇所について確認されたい。

→指摘事項を確認した上で承認。

(2) 「留学に関する安全ガイドライン」の改定について

○委員Aから資料2に基づき説明。

(委員B)

ワクチンの関係で帰国できない方もいる。新型コロナウイルス感染症等対策本部会議で議論してはどうか。

(委員C)

帰国の条件をガイドラインに示してはどうか。

(委員A)

対策本部会議で議論していただけるのであれば。また帰国の条件は、ガイドラインではなく誓約書に記載したい。

(学長)

政府は帰国の条件を緩和していく方針のため、誓約書に記載されたい。

→指摘事項を修正した上で承認。

(3) 令和4年度開講科目について(学校教育学科_専門)

○委員から資料3に基づき説明。→提案どおり承認。

(4) 令和4年度非常勤講師授業担当科目について(継続_第20回)

○委員から資料4に基づき説明。→提案どおり承認。

(5) 令和5年度開講科目について(学校教育_教職、JEC 教職)

○委員から資料5-1、5-2に基づき説明。

→提案どおり承認。

(6) 2022年度「高校教育体験実践活動」について

○委員Aから資料6に基づき説明。

(委員B)

教育実習で最大4週間授業が受けられない学生がいる中で、本実践活動に参加するとさらに1週間授業が受けられない学生が出てくる。その場合は、どのように対応すればよいか。

(委員A)

やむを得ない場合の欠席として理解していただき、オンデマンドなど授業の内容を補えるよう配慮していただきたい。

(委員C)

キャリア支援センターでは希望者を募っており、授業優先でよいかと思う。その分を補ってもらえるのはありがたいが、グループワークやディスカッションなど授業の都合もあり、また、欠席扱いとなり成績評価も判断する必要があるため、学生から相談された際に先生が助言していただいても構わない。

→提案どおり承認。

3 その他

(1) 都留文科大学2023大学案内について(国際教育学科)

○委員から資料7に基づき説明。

4 閉会

以上